



	人口 (2010年)	年平均増加率 (05~10年)	合計特殊出生率 (2010年)	5歳未満児死亡率 (05~10年)
世界全体	69.1億人	1.2%	2.52人	男7.1%、女7.1%
先進工業地域	12.4億人	0.3%	1.65人	男0.8%、女0.7%
開発途上地域	56.7億人	1.4%	2.67人	男7.8%、女7.8%

(「世界人口白書2010」から作製)



地球型ディスプレイでアフリカ大陸の上に平均寿命「52.9」歳が映し出され、家族たちは食い入るように見つめました—東京都江東区の日本科学未来館で

直径6メートルの地球型画面で解説 日本科学未来館

日本科学未来館では今月、末まで一日一回、人が集まって住む場所(インドや中国東部、日本など)や、地球ごとの平均寿命などを、直径6メートルの地球の形をした画面に映し出して解説しています。国連人口基金との共同企画です。

日本列島の上に赤い字で示された平均寿命は「83」歳。地球が自転するように映像が動き、大きな白い字で、ヨーロッパ地域の上には「77・6」歳、アフリカ大陸の上には「52・9」歳、

「人口が」増え続ける問題について、強くなった」といいます。

同基金東京事務所の上野ふよう所長補佐は「世界の人がどの国にどのように暮らしているのかわかり、広い世界に目を向けて興味をもち、だれかのために何かをすまきかけなければいけません。」と話しました。

世界人口70億人に

10月31日到達予測

地球に暮らす人の数(世界人口)は増え続け、十月三十一日には七十億人に達すると予測されています。国際連合(国連)人口基金はこの節目に、世界の人たちが生まれ、生活し、死ぬまでの状況を広く知ってもらおうと活動しています。日本科学未来館(東京都江東区)での展示を紹介いたします。また、人口が増え続けることについて専門家に聞きました。

医療が発達／途上国で増加

今から約五十年前の一九五九年、世界人口は三十億人でした。八七年には五十億人を超え、今年十月三十一日には七十億人に達すると

国連は予測しています。ラフ参照。世界人口が増え続けている理由の一つに、医療の発達と広がりがある人が増えること、世界の平均寿命は五〇年の四十八歳から六十九歳に伸びました。

日本をはじめ多くの先進国では、亡くなる子どもが減ってたくさん子どもを産まなくてもよくなったことなどから、合計特殊出生率(一人の女性が一生に子どもを産む数)が下がり、表参照、人口も横ばいか少し増えているくらいです。世界で人口が年間七千八

食糧や資源が不足 人が争うことも

世界の人口が増え続けると、どんな問題が起こるのでしょうか。上智大学(東京都千代田区)で人口学を教える鬼頭宏教授—写真—に聞きました。



鬼頭宏教授

人口が増え続ける問題、人口が大人になつたものの二〇五〇年に世界の人口は九十三億人を超えると思われる。世界で何が起つていて、どんな人がいるのか、新聞やインターネットでたくさん知ってほしい。

「人口が」増え続ける問題、人口が大人になつたものの二〇五〇年に世界の人口は九十三億人を超えると思われる。世界で何が起つていて、どんな人がいるのか、新聞やインターネットでたくさん知ってほしい。

た、外国の子とも交流する機会があったら、食べ物や宗教、暮らしなどについて話してみたい。おたがいのちがいを尊重しながら、協力して生活するヒントが見つかるかもしれません。

国連人口基金東京事務所は「70億人の世界×70億人のアクション」というキャンペーンを12月まで行っています。世界のためや自分のまわりの人のために何かできるか考え、身近なことからアクション(行動)してみようと呼びかけます。くわしくはウェブサイト(<http://www.70okunin.com>)へ。

百万人ほど増えているうち、九七%が開発途上国での増加です。増加数が多いのはインド、中国、ナイジェリア、パキスタン、アメリカ、インドネシアです。出生率が高いのは、アフリカのサハラ砂漠以南にあるニジェール、ザンビア、ソマリアなどです。しかし

医療が行き届かないなどの理由で亡くなる人も多いため、平均寿命は低く、苦しむ暮らしをしている人もたくさんいます。